

公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター
滅菌業務等委託に関する
公募型プロポーザル特定結果について

横浜市立大学附属市民総合医療センター管理部経営企画課物品管理担当では、「公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター滅菌業務等委託」について、公募型プロポーザル方式で受託候補者を特定しました。

平成31年1月16日までに1社から応募があり、平成31年1月25日に「公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター滅菌業務等委託に関するプロポーザル評価委員会（以下、評価委員会）」を開催し、評価基準に従って提案内容を評価しました。

評価委員会での評価の結果を受け、横浜市立大学附属市民総合医療センター第一契約審査会（平成31年1月31日）で、受託候補者をつぎのとおり特定しました。

1 約定の締結に係る受託候補者

サクラヘルスケアサポート株式会社

2 評価結果

	提案者	評価点数
1	サクラヘルスケアサポート株式会社	1,084/1,600

※評価委員は、8名。評価委員1名あたりの点数：合計200点

※満点：200点×8名＝1,600点

※評価委員会事務局：管理部経営企画課物品管理担当

3 評価基準

評価項目	評価配点	評価のポイント
滅菌業務等運営の基本的考え方	30	<ul style="list-style-type: none">・提案内容は、仕様書の内容と合致しているか。・回収・洗浄・滅菌・搬送までのサイクル（平常時及び緊急時）について、当院の現状を踏まえた効率的かつ具体的な運用となっているか。
滅菌業務	115	<ul style="list-style-type: none">・手術室等の滅菌器材の管理・供給業務を、当院の運営実態に合わせて効率的に行うことができるか。・予定手術はもちろんのこと、緊急手術に対しても、術式別の滅菌器材の緊急対応を適切に行うことができるか。・医師、看護師等と連携して、基本セットのマスターの見直し・集約の提案を行えるか。・看護師の業務軽減策が具体的に提案されているか。・洗浄前の器材の分解及び洗浄後の組立を確実にできる体制となっているか。・鋼製小物、内視鏡、スリッパ、回路洗浄（呼吸器・超音波吸入器）等の洗浄・消毒を効率的に行えるか。

		<ul style="list-style-type: none"> ・緊急手術など優先順位が高いものを確実に洗浄できる提案となっているか。 ・限られた滅菌機器類を有効活用し、滅菌業務を効率的に運用する提案となっているか。 ・滅菌機器類の清掃及び管理を適切に行えるか。
医療器材等管理・供給業務	15	<ul style="list-style-type: none"> ・医療器材の貸出、搬送・回収・消毒・清掃・点検・修理（一次修理、外部依頼）・報告を理解し、適切に行えるか。 ・倉庫管理、在庫管理について適正在庫量や有効活用の提案があるか。 ・医療器材の紛失・破損防止及び修理・買換についての提案があるか。
自由提案	10	<ul style="list-style-type: none"> ・自由提案は実現可能で、当院に有益なものであるか。
その他(他院での業務実績、人員体制、提案金額)	30	<ul style="list-style-type: none"> ・当院の病床数、手術件数を把握し、履行可能な知識や実績を備えているか。 ・本業務の遂行に必要な要員の配置ができているか。 ・管理・バックアップ体制及び研修体制は適切か。 ・委託料の年間概算見込額
計	200	

※応募者が1社のみとなった場合には、一定レベルの業務・質を保てるよう、最大評価点(満点)の60%を評価基準点として、基準点を下回る場合には本プロポーザルを不成立とします。